

株主の皆さまへ

2022年度
中間期

2022年4月1日～2022年9月30日



目次

セブン銀行の存在意義(パーパス).....	P1
社長メッセージ.....	P2
業績ハイライト.....	P4
Topics(トピックス).....	P5
会社概要.....	P7
大株主の状況.....	P7
株主構成.....	P7

PURPOSE

パーパス（存在意義）

お客様の「あったらいいな」を超えて、 日常の未来を生みだし続ける。

未来の芽は、いつもお客様の想いの中に生まれる。
「セブン-イレブンにATMがあったら」そんなお客様の想いが私たちを生んだ。
はじめに、お客様の想い。それが私たちの原点。

時代とともにお客様の想いの変化し、多様化しても、私たちの姿勢は「変わらない」。
そして、そのために私たちは「変わり続ける」。

「近くて便利」、「信頼と安心」を実現するユニークな銀行として、
人と社会を支え続ける新たな取組みへ。
その上で、一人ひとりの暮らしに寄り添い、金融サービスの枠を超え、
独創的な新しい価値づくりへの挑戦へ。

誰よりもお客様のいちばん近くで想いを、望みを共にすること。
テクノロジーと人の力で、常識を飛び超え、その実現に挑むこと。
そして、あらゆる人にもっと便利な、日常の未来を生みだし続けること。

私たちセブン銀行は、そのために存在します。

STORY

ストーリー

社是

1. 私たちは、お客様に信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客様のニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

「セブン・イレブンにATMがあったら便利なのに…」そんなお客様の声から2001年に誕生したセブン銀行は、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービスの提供を通じ、安全かつ効率的な決済インフラの構築に努めてまいりました。おかげさまで、国内ATM設置台数は26,525台となり、1日約260万人のお客さまにご利用いただく社会インフラの一つへと成長いたしました。

私たちは、新たな事業・サービスの創造を通じて「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」に取組み、社会の期待と信頼に応え、持続的成長の実現に努めてまいります。



代表取締役社長 松橋 正明

金融の枠を超えた幅広いニーズに対応できる「社会インフラ」の提供を目指して

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を機にした生活様式の変化や、デジタル技術進展に伴う急速なキャッシュレス化の普及等、当社を取り巻く事業環境は、過去に例をみないほど、急速に、そして劇的に変化しています。

このように時代が大きな転換期にある中、セブン銀行は、昨年、創業20周年の節目を迎え、“お客さまの「あったらいいな」を超えて、日常の未来を生みだし続ける。”という「パーパス（存在意義）」を策定しました。このパーパスの言葉に体現されるように、「近くて便利」、「信頼と安心」を実現するユニークな銀行としてお客さま一人ひとりの暮らしに寄り添い続けてきた私たちセブン銀行は、これまで以上に社会構造の変化、お客さまのニーズの多様化を敏感に捉え、技術革新の成果をスピーディーに取り入れた柔軟な経営を追求してまいります。

本業である「ATMプラットフォーム事業」では、人流回帰による現金の入出金の増加に加え、気軽にATMで現金チャージがで

きることで皆さまにご好評をいただいている、QRコード決済や地域通貨へのチャージが飛躍的に増加したことにより、おかげさまで上期累計のATM利用件数は、過去最高となる約4.8億件となりました。

今や安心・便利な「社会インフラ」として定着したセブン銀行ATMは、現金の入出金にとらわれない、新たなサービス・プラットフォームとしての進化を目指し、第4世代となる「新型ATM」への入替を2019年9月より進めており、2022年9月末現在で、1万2千台以上が「新型ATM」となりました。

この「新型ATM」には、高性能カメラが搭載されており、この機能を活用した本人確認サービスの実証実験は、2021年9月から現在まで金融・非金融合わせ9社が参画しています。

また、2022年10月からは、日本のコンビニATM初となる、口座開設・解約の手続きをATM上で受け付けるサービスを、セブン銀行口座を対象に開始いたしました。

また、連結子会社の株式会社セブン・ペイメントサービスでは、銀行口座を介することなく、企業から個人への送金をATMで受取ることができるサービス「ATM受取」を提供しております。イベントの中止に伴う返金や前払いの報酬、キャッシュバック・キャンペーン等、利用用途は拡大しており、2022年からは試験的に自治体からの給付金・助成金の受取りにもご利用いただいております。

セブン銀行は、今後も、「ATMが、あらゆる手続き・認証の窓口となる」、「ATM+」の世界を拡大させ、「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現に向けて前進してまいります。

「リテール事業」では、セブン&アイグループとの更なる連携強化と、デジタル技術を最大限に活用したユニークな金融商品・サービスの拡充を進めてまいります。2022年11月には、「お買い物」感覚で誰でも気軽に投資を始められる「お買い物投資コレカブ」のサービスを開始いたしました。また必要な時に簡単な手続きでお申込みいただける「個人向けローンサービス」は、残高が300億円を突破するなど、大変ご好評いただいております。これからもお客さまが求める利便性の高いサービスと新しい体験価値を提供してまいります。

「法人事業」では、連結子会社の株式会社バンク・ビジネスファクトリーと株式会社ACSiON（アクシオン）にて、これまでセブン銀行が培ってきた銀行事務やセキュリティに関するノ

ウハウ・プロダクツを活用し、厳格化する金融機関のマナー・ローンダリング対策サービスを提供し、日本の金融インフラの安定と強化に貢献しております。

日本国内でのATM運営ノウハウを活かした「海外事業」も成長戦略の柱の一つです。現在セブン銀行グループでは、海外3か国に1万4千台以上のATMを展開しています。そのうち、米国では、連結子会社のFCTI, Inc.が米国セブン - イレブン店舗にATMを設置し、広範なATMネットワークを構築しています。また、成長著しい東南アジア地域での取組みも強化しており、インドネシアでは連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL (ATMi) が、AIも活用した積極的なATM設置を推し進め、ATM台数は前年同期比で2倍以上まで拡大しました。フィリピンでは2021年2月に事業を開始した連結子会社Pito AxM Platform, Inc. (PAPI) が、ATM設置台数および利用件数を着実に増加させております。

このような取組みの結果、当中間期の連結業績は、経常収益738億円、経常利益145億円となりました。

セブン銀行では、「第二の成長」を目指し、2025年度を最終年度とした中期経営計画を推進しておりますが、今後は、デジタル技術やデータの利活用を積極的に推進することで、芽吹きつつある取組みをスピーディーにスケールさせてまいります。

注) 各種実績の数値は2022年9月末時点のものです。

株主の皆さまからのご支援にお応えして

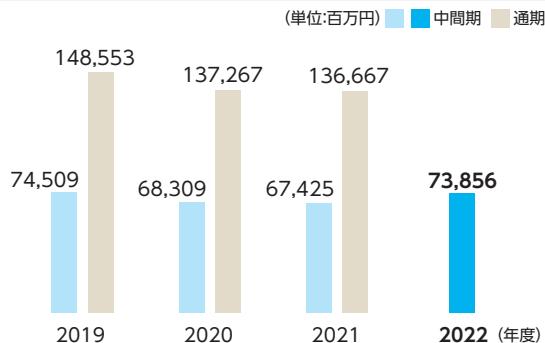
当社では従来より、安定的な配当を株主の皆さまへの利益還元の基本方針としております。当中間期では期初の計画通り、1株当たり5.5円の配当を実施いたしました。

今後も持続的成長を図るため、強固な財務基盤を維持しな

がら、将来に向けて継続的な成長投資の実行と安定的な株主還元を両立させることを目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

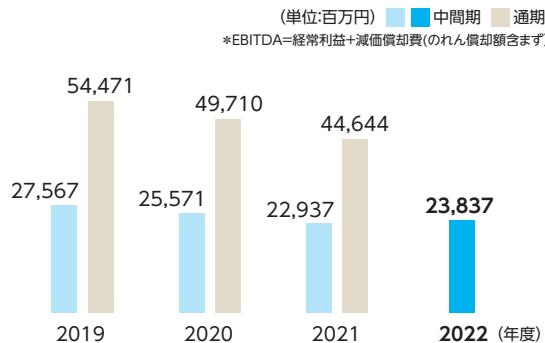
収益性 経常収益 (連結)



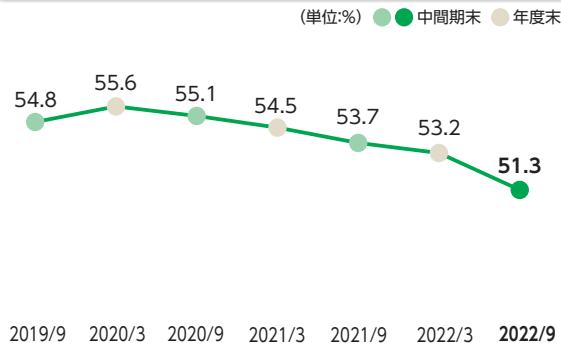
収益性 親会社株主に帰属する当期 (中間) 純利益 (連結)



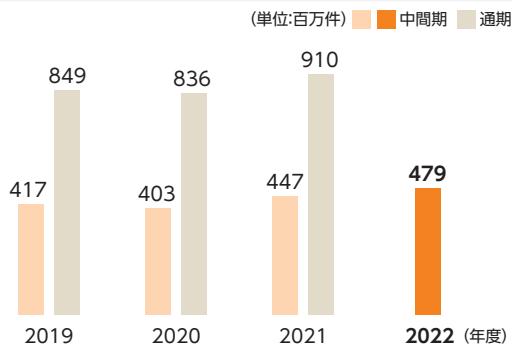
収益性 EBITDA (連結)



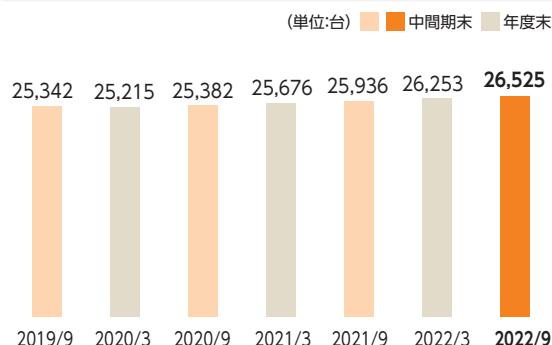
健全性 単体自己資本比率 (国内基準)



事業規模 ATM利用件数の推移 (単体)



事業規模 ATM設置台数の推移 (単体)



1

「あらゆる手続き・認証の窓口となる」 新型ATM「ATM+」の展開を加速

2022年度
グッドデザイン賞も受賞

2019年4月より順次入替えを進めてまいりました「新型ATM」は、2022年9月末現在、1都10県に12,496台を展開しております。使いやすさを追求し、多機能化を実現した「新型ATM」を通じて、現金の入出金だけでなく、銀行の諸届やマイナンバーの手続きなど、人々の生活に不可欠な社会インフラとして、さまざまなサービスを提供してまいります。また、多くのお客さまにとって、心地よく、安心・安全にATMをご利用いただけるデザインが評価され、2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。セブン銀行ATMは、「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現を目指し、新たなサービスプラットフォームへ進化してまいります。

新型ATM「ATM+」の特徴

もっと便利に、もっと快適に
どこでも誰でも使いやすいATMデザインを追求

- 高性能カメラと高精度の顔認証技術により、迅速かつセキュアな本人確認を実現可能に。
- つつみ込むような形状の大型バイザーにより、のぞき込みの不安を低減し、プライバシー空間を拡大。
- 電子マネーなどのチャージを可能にする非接触ICの読取り機能に加え、運転免許証やマイナンバーカード、パスポートなどの本人確認書類の読取りや、QRコード*の読取り機能を実装。
- Bluetoothによる通信機能を実装し、スマートフォンとの連携をスムーズに。



- ATMでの金融犯罪行為を自動で検知、24時間監視を行う。ATMコールセンターへ通知。

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

* QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

新型ATM「ATM+」でできること

セブン銀行ATMは、あらゆる認証・手続きの窓口となる
サービスプラットフォームへ進化



2

企業変革の推進で新たなムーブメントの創造へ

急速に変化する社会の中で、お客さまのニーズも多様化しています。常に変わる環境に対応するため、セブン銀行の中期経営計画では、持続的成長をけん引する戦略の一つとして「企業変革」を掲げています。“人材・組織・企業文化”、“ビジネスモデル・ビジネスプロセス”の両面で企業変革を遂行し、金融の枠を超えた幅広いニーズに対応するため、イノベーションを創出する組織づくりに注力しています。

CX: Corporate Transformation (企業変革)

持続的成長

新たな価値創出・生産性向上

CXPTの設置

全社横断で
企業変革を
推進するため、
2020年度に
推進チームを組成



個人の成長

社員の主体的なスキルアップや
キャリア形成・働き方の選択を促進する、
自律型人材が活躍できる組織への変革

DMO (Data Management Office) の設置



データ活用プロセスを全社横断的に定着させるため、社員のデータ活用を積極的に支援する専門チームを発足

会社の成長



セブン銀行やグループの
データを活かしたビジネスの構築

ATMや口座、グループのデータを利活用



社内外のデータとAIを活用したATM設置候補先の選定や、グループ電子マネーのデータを利用した独自与信モデルの構築などを実施

会社概要 (2022年9月末現在)

名称	株式会社セブン銀行 (英名: Seven Bank, Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-6-1
設立	2001年4月10日
開業	2001年5月7日
資本金	30,724百万円
発行済株式数	1,179,308千株
従業員数	523人 (役員、執行役員、パート社員、 派遣スタッフを除く)

連結子会社

- **FCTI, Inc.** (アメリカ合衆国)
事業内容: ATM運営事業
- **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)
事業内容: ATM運営事業
- **株式会社バンク・ビジネスファクトリー**
事業内容: 事務受託事業
- **株式会社セブン・ペイメントサービス**
事業内容: 送金・決済サービス、銀行代理業
- **Pito AxM Platform, Inc.** (フィリピン共和国)
事業内容: ATM運営事業
- **株式会社セブン・グローバルレミット**
事業内容: 外国人居住者向け資金移動業
- **株式会社ACSion**
事業内容: 本人確認及び不正検知プラットフォーム事業
- **株式会社Credd Finance**
事業内容: 外国人居住者向け貸金業

(計8社)

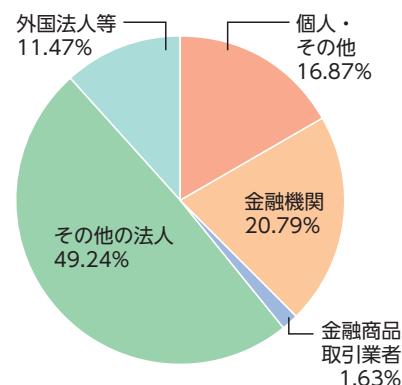
大株主の状況 (2022年9月末現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639	38.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	95,485	8.09
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	64,212	5.44
株式会社イトーヨーカ堂	46,961	3.98
株式会社ヨークベニマル	45,000	3.81
株式会社三井住友銀行	15,000	1.27
第一生命保険株式会社	15,000	1.27
BBH FOR UMB BK, NATL ASSOCIATION-GLOBAL ALPHA INTL SMALL CAP FUND LP (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	12,234	1.03
株式会社三菱UFJ銀行	10,000	0.84
株式会社野村総合研究所	10,000	0.84

※1 所有株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切捨てて表示しております。

株主構成 (2022年9月末現在)



※小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、
IRに関するお知らせなどがご覧いただけます。

<https://www.sevenbank.co.jp/ir/>



UD FONT
by MORISAWA

